

『お米が 食べられなくなる日』 上映会&トーク

～もう来てる!?食糧の危機～



「食料自給率が低くても、輸入すればいいでしょ」と考えていませんか?
“食料供給困難事態対策法”なんて、食料が不足する事態に備える法律ができて
しまった今、日本は食料を輸入できない時代がやってくるかもしれません。
私たちの食べものを、「平和」という観点から一緒に考えてみませんか?
いのちと暮らしを守るために。



2025

6月21日(土)

13:30開場▶14:00～16:00

資料代 1000円

会場

市民会館シアーズホーム夢ホール
2階 小ホール (大会議室)

熊本市中央区桜町1番3号

1 『お米が食べられなくなる日』上映会& 監修責任者との対談トーク!

10年以上前に作られたこの映画。

監修をされた大野和興さんにオンラインで出演いただき、「なぜ10年前にこの映画を作ったのか?」などお話をうかがいます。

そして田尻和子さんとの対談で「令和の米騒動は予想されたのか?」「10年後のために何をやらなければならないのか」などを、世界に視野をおいたジャーナリストとしてお話しいただきます。

出演者

大野和興さん/オンライン出演(農業ジャーナリスト。市民系独立メディア「日刊ベリタ」編集長、映画『お米が食べられなくなる日』監修責任者)
田尻和子さん(当会の代表。九州大学農学部卒業、弁護士)
コーディネーター:間 司さん(有機無農薬「百草園」代表)



大野和興さん



田尻和子さん

2 みんなで語ろう! 今できること

農業問題の解決は、農業人口の減少、地球温暖化による気候変動、これまでのやり方は通用しない「やっかいな問題」なのかもしれません…。

でも、三人よれば文殊の知恵!いくつかのテーマの中からひとつを選んで、参加者同士で話していただく時間を考えています。



くまたねHP



主催 くまもとのタネと食を守る会

お問合せ先 mail:save.seedfoodkuma@gmail.com Fax:096-273-1917

連絡先 熊本市北区植木町今藤1140-1 tel:090-6426-3604 <https://www.kumatane.com>

協賛 グリーンコープ生協くまもと 熊本の環境を考える会 NPO法人・くまもと未来ネット 有限会社・くまもと有機の会 有機生活
生活協同組合/いのちと土を考える会 有機無農薬の百草園 natural natural 産直便 ママトコキッチン (税)未来税務会計事務所
自主平和民主のための広範な国民連合・熊本 ともの輪 嘉島町の命とみらいを守る会 平和を求め軍拡を許さない女たちの会・熊本

『お米が食べられなくなる日』

上映会&トーク

～もう来てる!?食糧の危機～

『お米が食べられなくなる日』(PARC/35分)

この作品が制作されたのは2012年。作中で、生産者は“10年後には日本で米作りができなくなるかもしれない”と語っていました。

減反政策・競争原理の導入・理に合わない効率化などお米の生産を取り巻く危機、そして貿易の問題点…。2025年の今、令和の米騒動の最中で私たちはどう受け止め、何を思うのでしょうか？

作品のラスト、“ともに支える未来”も必見です。

スケジュール

- 13:30 開場・資料配布
- 14:00 開会
- 14:10 映画上映
- 10分休憩
- 15:00 対談【大野和興氏と田尻和子氏】
- 15:40 みんなで語ろう!今できること
- 16:10 閉会・連絡など
- 16:20 終了

ご参加希望の方へ

お席の確保のため、事前にメールまたはFAXにてお申込みをお願いいたします。

締切

お申込み締切: 2025.6月14日(土)

※定員に達し次第、お申込みを締め切らせていただく場合があります。

お申込み方法

●メールでお申込みの場合

以下の①～④をご記入の上、

save.seedfoodkuma@gmail.com 宛にお送りください。

①お名前 ②所属(あれば) ③メールアドレス ④電話番号

メールが
起動します



●FAXでお申込みの場合

下記の【FAX申込み欄】にご記入の上、**096-273-1917** 宛にお送りください。

※資料代1000円は、当日会場でお支払いをお願いいたします(現金のみ)。

FAX申込み欄

お名前:

所属(あれば):

FAX番号:

電話番号:

メール(あれば):

FAX送付先▶ 096-273-1917